

菜

なたね

種

編集と発行

北栄町農業委員会
北栄町土下112 (北条庁舎)
TEL (0858) 36-5567

TPPに絶対反対！

～日本の未来のために、食と暮らし・命を守るために～



平成23年10月 23日 TPP交渉参加断固反対 鳥取県大会

TPPのこといっしょに考えませんか

北栄町農業委員 河原廣美

私たちはTPPへの参加は反対と考えています。参加することで懸念される影響、また24項目にわたる問題点が明確に示されていない段階での参加は、危険だと考えています。

日本の農業への影響は関税が撤廃されれば安い農畜産物が輸入され、かつ安全でない農畜産物をも輸入されかねないのです。その結果、私たちの食生活は守れるでしょうか？また農業生産者の生計にも大きな打撃を与え、壊滅状態になるリスクがあります。そして消費者の食の安心安全は野放し状態で、危険きわまりない事態になるリスクが考えられます。またその他の分野でも色々な懸念項目が指摘されています。

現在、政府が認めたTPP交渉21分野の主な懸念を次ページに列挙してみます。

TPP交渉分野の主な懸念

- 一 物品の関税撤廃など・・・米や小麦、砂糖、乳製品、牛肉、豚肉などの重要品目も含め、関税の全廃を迫られる。米豪、米韓FTAのように、医薬品分野の規定がおかれる可能性がある。
- 二 原産地規則・・・TPP参加国以外の産品などが不正に関税なしで流通する可能性がある。
- 三 貿易円滑化・・・特になし。
- 四 SPS（衛生植物検疫）・・・病害虫発生国からも地域限定で生産物が輸入されるようになる懸念がある。個別品目の輸入解禁をTPP交渉参加国から交渉参加の条件とされる可能性がある。
- 五 製品の安全・環境規格・・・遺伝子組み換え作物の表示ができなくなる可能性がある。
- 六 セーフガード（緊急輸入制限）の発動条件など・・・セーフガード措置を発動できる条件が厳しくなる可能性がある。米豪FTAなどは農産物関税撤廃後の発動を禁止している。
- 七 政府調達・・・外国企業への配慮で地方自治体の事務負担が多くなる可能性がある。米豪FTAは海外に入札を解放する事業が半分以上である。
- 八 知的財産権・・・日本の特許制度の改正が迫られる可能性がある。
- 九 カルテルなどの防止・・・日本の既存制度との整合性がとれなくなる可能性がある。
- 十 越境サービス貿易・・・個別の資格・免許の相互承認が求められる場合には医師・弁護士資格などの日本の既存制度の改正を迫られる可能性がある。
- 十一 商用関係者の移動・・・特になし。
- 十二 金融サービス・・・米国などから郵政や共済で追加約束を求められる可能性がある。米韓FTAでは韓国郵政による保険の新商品販売を禁止。共済も民間保険と同一の規制を適用。
- 十三 電気通信サービス・・・特になし。
- 十四 電子商取引・・・日本が結んできた既存のEPAとの整合性がとれなくなる可能性がある。
- 十五 投資・・・外国の投資家から日本が国際仲裁に提起される可能性がある。
- 十六 環境・・・海洋資源保全、野生動物、違法伐採に関する規定が盛り込まれれば日本の漁業補助金などが削減される可能性がある。
- 十七 労働・・・特になし。
- 十八 制度的事項・・・特になし。
- 十九 締結国間の紛争解決・・・特になし。
- 二十 協力・・・特になし。
- 二十一 分野横断的事項・・・今後の議論を見極める必要がある。

(TPP交渉では24の作業部会が設けられているが、「首席交渉官会議」は特定分野を扱っていない21分野にした。)

以上のように色々な懸念材料があり、かつ見えていないものも一部であり、このTPP問題にはリスクが大きいと考える。TPPの参加は必要か、そしてリスクが大きければ参加しない、また国益にならないなら断固反対であると表明しよう。

環太平洋連携協定（TPP）参加による鳥取県農業への影響額試算
(鳥取県ホームページより)

現在、参加が検討されている環太平洋連携協定（TPP）に参加した場合、国の試算によると国全体では4兆1千億円（国内農業生産額の48.4%）の農産物の生産額が減少すると公表された。

1. 国の試算に準ずる品目

品目名	県農業生産額(H20) (A)	国試算に基づく生産額の減少率 (B)	県生産減少額 =(A)×(B)
米	160億円	△94%	△150億円
牛肉 (肉用牛)	29億円	△83%	△24億円
牛乳	58億円	△100%	△58億円
豚肉(豚)	53億円	△80%	△42億円
鶏 (ブロイラー)	53億円	△65%	△34億円
鶏卵	22億円	△33%	△7億円
計①	375億円	—	△316億円

2. 国が試算に含めていない品目

品目名	県農業生産額(H20) (A)	国試算に基づく生産額の減少率 (B)	県生産減少額 =(A)×(B)
野菜	200億円	不明	—
果実	69億円	不明	—
花き	22億円	不明	—
その他	36億円	不明	—
計②	327億円	不明	—

3. 県農業生産額への影響合計

①+②	702億円	△316億円
-----	-------	--------

本県においても、国と同様の条件で試算した場合、本県農業としては316億円（県農業生産額の45%）の農産物の生産額が減少する可能性があるとの結果が得られた。

交流をしました

収穫の喜びを体験

小雨の降った十一月五日、ハワイ夢マート（JA直販所）のサポーターが北栄町大谷の我が家のほ場で収穫体験を行った。

サポーターの構成員は、主婦を中心に、鳥取短大の学生さんら二十名余り。事前にやってみたい事を記入してもらった。野菜を使った料理の作り方とか、野菜の収穫体験がしてみたいとの事だった。当日は、あいにくの雨となったが、どろんこになりながら、今が旬のサツマイモ、大根、ブロッコリー、白菜を収穫。土の中から大きな野菜が出る喜びの声があがっていた。

場所を移動し、北栄町中央公民館大栄分館で取れたての野菜を使い、「サツマイモとゴボウのおこわ」等四品を参加者全員で作り、昼食にいただいた。満足そうな顔に安心。この企画を通じ、世代間の交流が生まれ、収穫の喜び、農業への理解が一層深まったように思えた。

（森本真理子）



がんばっています

下種 安藤 健一

僕が農業を始めたきっかけは、自然の中で仕事ができる事と自ら育てた野菜や果物を売り、色々な方に食べてもらえる事に魅力を感じたからです。そして、運が良い事に妻のお兄さんが農業を経営しており、働かせてもらう事になって今に至ります。

僕は兵庫県の明石という所で菓子工場に勤めていました。初め、鳥取で農業をするという事に対して、僕の両親は反対し何回も説得しました。その結果、この北栄町の下種に移り住んで来て農業を始めました。なかなか僕みたいなパターンの方は少ないかもしれませんが…(笑)。やはり農業という仕事は思っていた以上に大変な仕事だと思えます。

朝早くから畑に出ると暗くなるまで作業をし、夏は倒れそうになる位に暑い、冬は動けなくなる位に寒い、時には雨もいきなり降ってくるといった過酷なものです。しかし前の仕事と比べると、家族と接する時間が増えたと、自然を相手にしているせいか、気持ち的にゆとりが出来てきたと実感しています。作業自体も慣れてくるうちに楽しくなったり、野菜や果物それぞれの特質を教わって

感心させられたりと、農業の奥深さを徐々に感じてきています。これから不安もありますが、一人前の農業者になれるように頑張っていくので、応援ヨロシクお願いします。



優秀作品

平成23年1月28日(金)に行われた「農業が結ぶ・地域のきずな」オーラル北栄アグリフォーラム」で募集した農業川柳の優秀作品をご紹介します。

- | | | | |
|-------|------------|-------|---------------|
| 野良が好き | いつもきれいな | 母の畑 | 鈴木 則子 (静岡県) |
| 柿ひとつ | 鳥に残して | 出荷終え | 梅山 すみ江 (神奈川県) |
| 流れ出る | 汗に飲えて | うまい米 | 亀井 千代蔵 (福井県) |
| 温泉に | 行ってもいいかと | 苗に聞く | 幅内 綾美 (北海道) |
| 収穫を | 祈って計る | 糖度計 | 友定 憲一 (江北) |
| たべれたよ | にがてなトマト | グーのあじ | 森下 美蘭 (岡山県) |
| 幸せも | 一しよに囲む | 鍋料理 | 遠藤 繁義 (由良宿) |
| 土付いた | 父母の野菜を | お土産に | 角山 諭 (京都府) |
| 手間かけた | メロンは主を | 裏切らぬ | 野嶋 道子 (国坂) |
| 今朝採って | 産地直送 | 道の駅 | 山崎 勝憲 (田井) |
| 手間暇を | かけて確かな | 無農薬 | 加藤 順也 (愛知県) |
| 見回りの | 野菜は愛し | 子と同じ | 竹重 登美子 (山口県) |
| お野菜も | 君も素顔の | ままがいい | 門脇 かずお (米子市) |
| 食膳に | 地産地消の | 料理載る | 岩崎 和子 (江北) |
| 豊作に | 貧乏神が | しがみつ | 涌嶋 正和 (北条島) |
| 農業は | 「快」「協」「健」の | 3Kで | 長戸 康孝 (埼玉県) |
| 百姓も | 地産他消で | よそが当て | 浜根 良太郎 (松神) |
| カラス来て | 大玉選び | 検査する | 濱坂 良男 (由良宿) |
| 新米を | 食べに帰った | 秋祭 | 遠藤 民江 (由良宿) |
| 苦しいが | 大地と生きる | 幸があり | 古賀 由美子 (佐賀県) |
| 一房に | 美味しくなれと | 袋かけ | 中井 美智子 (東園) |
| 意気や良し | アグリフォーラム | 北栄の | 八木 絵里 (愛知県) |

農業川柳を募集中

平成24年1月に開催予定の「オール北栄アグリフォーラム」で発表する「農業川柳」を皆様から募集しています。

テーマは、農業に関するものであれば自由です。

- ★応募期限 平成23年11月30日(水)
- ★記載事項
 - ①農業川柳 ②作品の説明
 - ③氏名 ④年齢(学校名、学年)
 - ⑤住所 ⑥郵便番号
 - ⑦電話番号
- ★応募方法 ハガキ、ファクシミリ、電子メールにより応募してください。
- ★応募にあたっての注意事項
 - ・一人3点まで応募可能です。
 - ・応募作品は、自作未発表・他に応募していないものに限りです。

〒689-2111
鳥取県東伯郡北栄町土下112
産業振興課農林振興室
電話：0858-36-5565
ファクシミリ：0858-36-4595
eメール：sangyo@e-hokuei.net

農地流動化情報

各集落や地区内における農地の売買契約、貸借契約に至らなかった土地について、地区外などからも広く対象者等を募ることを目的として、流動化の情報を公開します。

詳細については「農地流動化情報台帳」として農業委員会でご覧いただけます。

※買い手、借り手の方については、耕作面積等農家要件が必要です。

※掲載を希望された情報です。

《売りたい・貸したい》

No.	農地の所在	地目	面積(a)
1	由良宿戸崎(貸借のみ)	田	14
2	西園中浜(貸借のみ)	畑	30
3	西園北濱(貸借のみ)	畑	7
4	由良宿郷原(貸借のみ)	畑	8

シリーズ 農業委員活動

⑧

北栄町農業委員26名は、各担当地区について「農地利用状況調査」を行いました。

【調査の目的】

- ①違反転用の早期発見
 - ②優良農地の確保と有効利用
 - ③耕作放棄地の発見防止と解消
 - ④意欲のある農業者への農地集積と推進
- そこで今回は3名の委員による調査報告をします。

◇北条島 涌嶋委員 調査日：10月18日

果樹園(特に柿)で管理不十分な面が見られる。草刈りが年に2回程度行われている様であるが、今後が心配。

◇瀬戸・原・穂波 磯上委員 調査日：11月4日
原地区で、ところどころ遊休農地があった。手をかければもとにもどるが、高齢と暑さが原因か。

瀬戸地区では、由良川沿い水田で由良川拡幅工事が施工されているため、由良川沿いの水田が削られそう。

穂波地区はなし。

水田は、各地区とも将来、大区画化をして、地区ごとで維持すべきだろう。

◇江北浜・西新田場・東新田場 淀瀬委員

調査日：11月8日

パトロールをしてみて、耕作放棄地が目立たなくなると感じた。

特に、東新田場は自分の畑をきちんと守っているなど感心しました。

ただ、来年からは、葉たばこの生産減小によりどんな畑の状態になるか心配している。

〔編集後記〕

3月11日の東日本大震災から9ヶ月目を迎えた。

日本中の人が、また被災地の人々が、復興に向けて一步一步前進している。

そんな東北に厳しい冬が近づいている。

仮設住宅に東北の大雪が耐えられるのか？

そんな心配もされる中、今度はTPPの問題で日本中に不安を与えている。

いったい、日本はどうなるのか。私たちの生活がこの先どう変化するのか。

TPPの問題に関しては、賛成も反対も意見としてはあるけれど、どうして反対するのか？。みんな考えていきたい。

(淀瀬千賀子)

広報委員

淀瀬千賀子

河原廣美

前田浩明

森本真理子

大西仁美

齋尾智弘